

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of:

Fumio KOBAYASHI

Application. No.: *To Be Assigned*

Filed: *Concurrently*

FOR: AUXILIARY LENS FOR CAMERA  
AND THE LIKE

Art Unit: *Unassigned*

Examiner: *Unassigned*

Atty. Docket No. 31721-191435

Customer No.

26694

PATENT TRADEMARK OFFICE

July 31, 2003

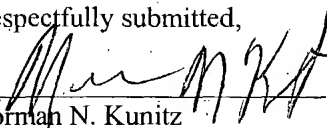
SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, Virginia 22313-1450

Sir:

Submitted herewith is a certified copy of Application No. 2003-003173 filed on June 2, 2003 in Japan; the priority of which is claimed in the present application under the provisions of 35 U.S.C. 119. It is requested that the Examiner acknowledge receipt of the enclosed document in the initial Office Action.

Respectfully submitted,

  
Norman N. Kunitz

Registration No. 20,586

VENABLE LLP

P.O. Box 34385

Washington, D.C. 20043-9998

Telephone: (202) 962-4800

Telefax: 202 (962-8300

NNK/elw  
DC2/474918

## **JAPAN PATENT OFFICE**

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application  
as filed with this Office.

Date of Application: June 2, 2003

Application Number: Utility Model Application No. 2003-003173

Applicant: TODA SEIKO CO., LTD.

July 10, 2003

Commissioner,  
Japan Patent Office

Shinichiro Ohta (with seal)

Certificate No. 2003-3000089

[Document] Application for Utility Model Registration

[Attorney's Ref. No.] 03U008

[Filing Date] June 2, 2003

[Application Addressed to] Director of Japan Patent Office

[Inventor]

[Address or Residence] c/o TODA SEIKO CO., LTD.  
9-3, Kamitoda 1-chome, Toda-shi,  
Saitama-ken

[Name] Fumio KOBAYASHI

[Applicant]

[Address or Residence] 9-3, Kamitoda 1-chome, Toda-shi,  
Saitama-ken

[Name or Firm-Name] TODA SEIKO CO., LTD.

[Telephone Number] 048-445-8541

[Attorney]

[Attorney Code] 100104488

[Registered Patent Attorney]

[Name or Firm-Name] Yoshio SUGIMOTO

[Telephone Number] 048-431-8179

[List of Appended Documents]

[Name of Document] Specification 1

[Name of Document] Drawings 1

[Name of Document] Abstract 1

日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日            2 0 0 3 年   6 月   2 日  
Date of Application:

出 願 番 号            実 願 2 0 0 3 - 0 0 3 1 7 3  
Application Number:

[ST. 10/C]:            [ J P 2 0 0 3 - 0 0 3 1 7 3   U ]

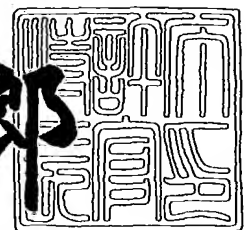
出   願   人            有 限 会 社 ト ダ 精 光  
Applicant(s):

Inventor: Fumio KOBAYASHI  
Attorney DKT: 31721-191435  
Customer No 26694

2 0 0 3 年   7 月 1 0 日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

太田信一郎



【書類名】 実用新案登録願

【整理番号】 03U008

【提出日】 平成15年 6月 2日

【あて先】 特許庁長官殿

【考案者】

    【住所又は居所】 埼玉県戸田市上戸田1-9-3  
                    有限会社トダ精光内

    【氏名】 小林 文雄

【実用新案登録出願人】

    【住所又は居所】 埼玉県戸田市上戸田1-9-3

    【氏名又は名称】 有限会社トダ精光

    【電話番号】 048-445-8541

【代理人】

    【識別番号】 100104488

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 杉本 良夫

    【電話番号】 048-431-8179

【納付年分】 第1年分から第3年分

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 046846

    【納付金額】 38,900円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 図面 1

    【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【考案の名称】 アクセサリーレンズ

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

カメラ、カメラ内蔵の携帯電話等に装着されるアクセサリーレンズであって、カメラ等に装着される座金（4）と、

該座金（4）に連結されることによりカメラ等に装着されるアクセサリーレンズ本体（2）と、により構成され、

前記アクセサリーレンズ本体（2）は、カメラ等への装着側に、マグネットあるいは磁性体により構成される吸着部（3）が形成されており、

前記座金（4）は、前記アクセサリーレンズ本体（2）における吸着部（3）に吸着可能な磁性体あるいはマグネットにより構成されている、ことを特徴とするアクセサリーレンズ。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案が属する技術分野】

本考案は、カメラ、あるいはカメラ内蔵携帯電話等のカメラを内蔵した製品に用いる、コンバージョンレンズ、フィルターレンズ等のアクセサリーレンズに係り、より詳しくは、アクセサリーレンズ本体と、このアクセサリーレンズ本体に一端面において連結されるとともに、他端面においてカメラ等に装着される座金とにより構成され、座金とアクセサリーレンズ本体との連結を磁力により行なうことを可能としたアクセサリーレンズに関する。

【0002】

【従来技術】

周知のとおり、特にハイグレードなカメラでは、望遠レンズ、広角レンズ等のコンバージョンレンズやフィルターレンズ等のいわゆるアクセサリーレンズを装着可能としている。

【0003】

即ち、これらのカメラでは、レンズ周辺部にフィルターネジが形成されている

とともに、アクセサリレンズ側にはこのフィルターネジに螺合可能なネジが形成されており、これにより、状況等に応じて、アクセサリレンズ等をカメラに装着可能としている。そのため、これらのカメラでは、望遠撮影、広角撮影等を好みに合わせて行なうことができ、カメラの使用範囲を広げることが可能である。

#### 【0004】

##### 【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、いわゆるミドルクラスと呼ばれるカメラでは、このフィルターネジが形成されておらず、そのためにコンバージョンレンズ等のアクセサリレンズの使用が不可能となっている。

#### 【0005】

例えば、近年、320万画素程度のデジタルカメラが流行しており、これらのカメラは一般的にミドルクラスといわれているが、これらのミドルクラスのカメラではフィルターネジが形成されていないために、これに望遠レンズ、広角レンズ等のコンバージョンレンズ等を装着することは不可能であり、そのために使用範囲が限定されてしまうという問題点が考えられる。

#### 【0006】

また、フィルターネジが形成されている場合であっても、フィルター径によって、使用可能なコンバージョンレンズ等が制限を受けてしまい、好みのコンバージョンレンズ等を使用できない、という問題点も考えられる。

#### 【0007】

更に、コンバージョンレンズ等の装着に際しては、このフィルターネジの方式の他に、レンズアダプター等を用いてコンバージョンレンズ等を装着する方法も提供されているが、このレンズアダプターを用いる場合には、コンバージョンレンズ等の装着の度ごとにこれをカメラに装着しなければならず、煩わしさに耐えないという問題点がある。

#### 【0008】

更にまた、近年流行しているカメラ内蔵の携帯電話等のカメラを内蔵した製品では、アクセサリレンズの装着を前提としていない構成のために、アクセサリ

ーレンズの使用は不可能である。

#### 【0009】

そこで、本考案は、フィルターネジが形成されていないカメラに対しても、また、従来はアクセサリレンズの使用を想定していないカメラ内蔵の携帯電話等の製品に対しても容易に装着することが可能なアクセサリレンズを提供することを課題としている。

#### 【0010】

##### 【課題を解決するための手段】

本考案のアクセサリレンズは、  
カメラ、カメラ内蔵の携帯電話等に装着されるアクセサリレンズであって、  
カメラ等に装着される座金と、  
該座金に連結されることによりカメラ等に装着されるアクセサリレンズ本体と、により構成され、

前記アクセサリレンズ本体は、カメラ等への装着側に、マグネットあるいは磁性体により構成される吸着部が形成されており、

前記座金は、前記アクセサリレンズ本体における吸着部に吸着可能な磁性体あるいはマグネットにより構成されている、ことを特徴としている。

#### 【0011】

本考案のアクセサリレンズでは、カメラ等に装着される座金と、この座金に連結されることにより間接的にカメラ等に装着されるアクセサリレンズ本体とを備えているとともに、アクセサリレンズ本体には、マグネットあるいは磁性体により構成される吸着部を備え、座金は前記吸着部に吸着可能なマグネットあるいは磁性体により構成されており、磁力によって、座金とアクセサリレンズ本体を互いに吸着可能としている。

#### 【0012】

そのため、両面テープ等を用いて、カメラ等におけるレンズ周辺部に座金を装着しておくことにより、磁力によって、座金を介してアクセサリレンズをカメラに装着することができる。

#### 【0013】



したがって、本考案のアクセサリーレンズでは、フィルターネジが形成されていないカメラの場合であっても、また、従来からアクセサリーレンズの装着を想定していないカメラ内蔵の携帯電話等に対しても、容易にこれを装着することができ、いわゆるミドルクラスといわれるカメラやカメラ内蔵の携帯電話の使用範囲を広げることができる。

#### 【0014】

また、本考案のアクセサリーレンズでは、磁力を利用してカメラ等に装着する方式を採用しているために、座金を予めカメラ等の側に装着しておくことで、状況等に応じて、好みのコンバージョンレンズ、フィルターレンズ等のアクセサリーレンズをカメラ等に装着することができる。

#### 【0015】

##### 【考案の実施の形態】

本考案のアクセサリーレンズでは、アクセサリーレンズ本体と座金とにより構成されており、座金は、カメラ等におけるレンズ周辺に装着可能な略リング形状としており、その全体を、マグネットあるいは磁性体により構成している。また、アクセサリーレンズ本体には、マグネットあるいは磁性体により構成される吸着部を備えており、これにより、カメラ等に座金を装着した状態において、アクセサリーレンズ本体を、磁力によって座金に吸着可能とし、座金を介して、アクセサリーレンズ本体をカメラに装着可能としている。

#### 【0016】

##### 【実施例】

本考案のアクセサリーレンズの実施例について図面を参照して説明すると、図1は本実施例のアクセサリーレンズ1を示す図である。そして、本実施例におけるアクセサリーレンズは、デジタルカメラ等に装着されるコンバージョンレンズを示しており、アクセサリーレンズ本体と、このアクセサリーレンズ本体が一端面に吸着されるとともに、他端面がカメラに装着される座金により構成されている。

#### 【0017】

即ち、図において2がアクセサリーレンズ本体であり、本実施例においてこの

アクセサリールンズ本体2は、従来から用いられているコンバージョンレンズと同様の構成としており、望遠、広角等のすべてのコンバージョンレンズが含まれる。

#### 【0018】

ここで、図2は、前記アクセサリールンズ本体2の構造を説明するための断面図であり、本実施例においてこのアクセサリールンズ本体2は、筐体201内にレンズ202を備えた構成としており、このレンズ202としては、望遠レンズ、広角レンズ等が考えられる。

#### 【0019】

また、カメラに装着される側には、略リング状の吸着部3が、一端面を露出するような配置で装着されており、吸着部3の露出面を吸着面としれている。そして、本実施例においてこの吸着部3は、マグネットにより構成している。なお、装着の方法は特に限定されず、接着、係止等いずれでもよい。

#### 【0020】

次に、図1において4は座金であり、本実施例においてこの座金4は、カメラにおけるレンズ周辺部の寸法に対応させた略リング状としており、その全体を金属等の磁性体により構成している。

#### 【0021】

そのため、本実施例のアクセサリールンズ1では、磁力によって、アクセサリールンズ本体2における吸着部3に座金4を吸着させることが可能であり、そのために、予め座金4をカメラに装着しておくことで、容易に、アクセサリールンズ本体2をカメラに装備することが可能である。

#### 【0022】

次に、本実施例のアクセサリールンズの使用方法について説明すると、図3において、予め、カメラ5におけるレンズ501の周辺部502に、両面テープ等を用いて座金4を装着する。

#### 【0023】

次に、アクセサリールンズ本体2における吸着部3の吸着面を前記座金4に重ね合わせる。そうすると、磁力によって、座金4にアクセサリールンズ本体2を

吸着させることができ、これにより、カメラ5にアクセサリレンズ本体2を装備することが可能となる。

#### 【0024】

このように、本実施例のアクセサリレンズでは、吸着部を備えたアクセサリレンズ本体と、一端面において前記アクセサリレンズ本体における吸着面に吸着可能であり、他端面においてカメラに装着される座金により構成されるとともに、前記吸着面と座金とを、磁力により互いに吸着可能としている。そのために、予め座金をカメラにおけるレンズ部周辺に装着しておくことにより、容易にアクセサリレンズ本体を装着でき、したがって、フィルターネジを備えていないカメラの場合でも、コンバージョンレンズを装備することが可能である。

#### 【0025】

なお、前述の実施例では、アクセサリレンズ本体における吸着部をマグネットにより構成し、座金を金属等の磁性体により構成した場合について説明したが、本考案のカメラ用コンバージョンレンズは、磁力を用いてカメラに装着可能とした点を特徴としているために、必ずしも吸着部をマグネットにより構成するとともに座金を磁性体により構成する必要は無い。したがって、例えば、座金をマグネットにより構成するとともに吸着部を磁性体により構成してもよく、あるいは、双方ともマグネットにより構成してもよい。

#### 【0026】

また、前述の実施例では、カメラに装着されるコンバージョンレンズについて説明したが、本考案のアクセサリレンズは、必ずしもカメラに装着されるコンバージョンレンズには限定されず、カメラ等に装着されるアクセサリレンズ全般について適用可能である。従って、カメラ等に装着されるフィルターレンズ等も含まれ、また、従来はアクセサリレンズの装着が想定されていなかったカメラ内蔵の携帯電話等にも適用可能である。

#### 【0027】

##### 【考案の効果】

本考案のアクセサリレンズは以上説明した形態で実施され、以下に記載するような効果を奏する。

## 【0028】

本考案のアクセサリールンズでは、カメラ等に装着される座金と、この座金に連結されることにより間接的にカメラ等に装着されるアクセサリールンズ本体とを備えているとともに、アクセサリールンズ本体には、マグネットあるいは磁性体により構成される吸着部を備え、座金は前記吸着部に吸着可能なマグネットあるいは磁性体により構成されており、磁力によって、座金とアクセサリールンズ本体を互いに吸着可能としている。

## 【0029】

そのため、両面テープ等を用いて、カメラ等におけるレンズ周辺部に座金を装着しておくことにより、磁力によって、座金を介してアクセサリールンズをカメラに装着することができ、フィルターネジが形成されていないカメラ等の場合であっても、また、従来からアクセサリールンズの装着を想定していないカメラ内蔵の携帯電話等に対しても、容易にこれを装備することができる。

## 【0030】

また、本考案のアクセサリールンズでは、磁力を利用してカメラに装着する方式を採用しているために、座金を予めカメラ側に装着しておくことで、状況等に応じて、好みのコンバージョンレンズ、フィルターレンズ等のアクセサリールンズをカメラ等に装着することができる。

## 【図面の簡単な説明】

## 【図1】

本考案のアクセサリールンズの実施例を示す斜視図である。

## 【図2】

本考案のアクセサリールンズの実施例におけるアクセサリールンズ本体の構造を説明するための断面図である。

## 【図3】

本考案のアクセサリールンズの実施例の使用方を説明するための図である。

## 【符号の説明】

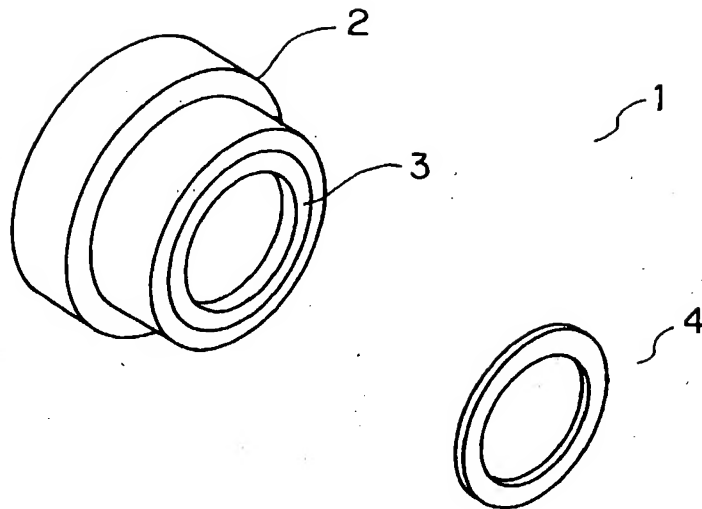
- 1      コンバージョンレンズ
- 2      アクセサリールンズ本体

- 201 アクセサリーレンズ本体の筐体
- 202 アクセサリーレンズ本体のレンズ
- 3 吸着部
- 4 座金
- 5 カメラ

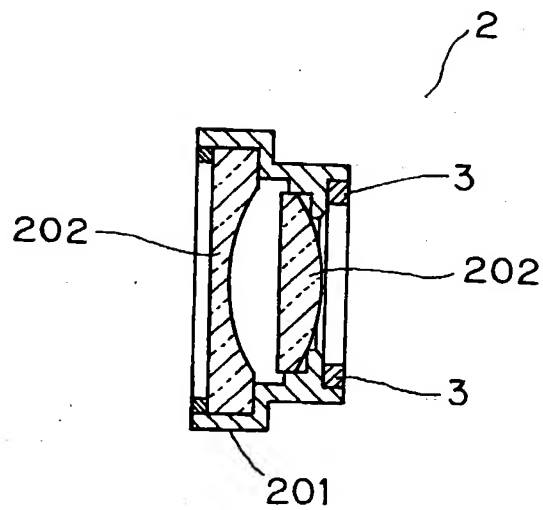
【書類名】

図面

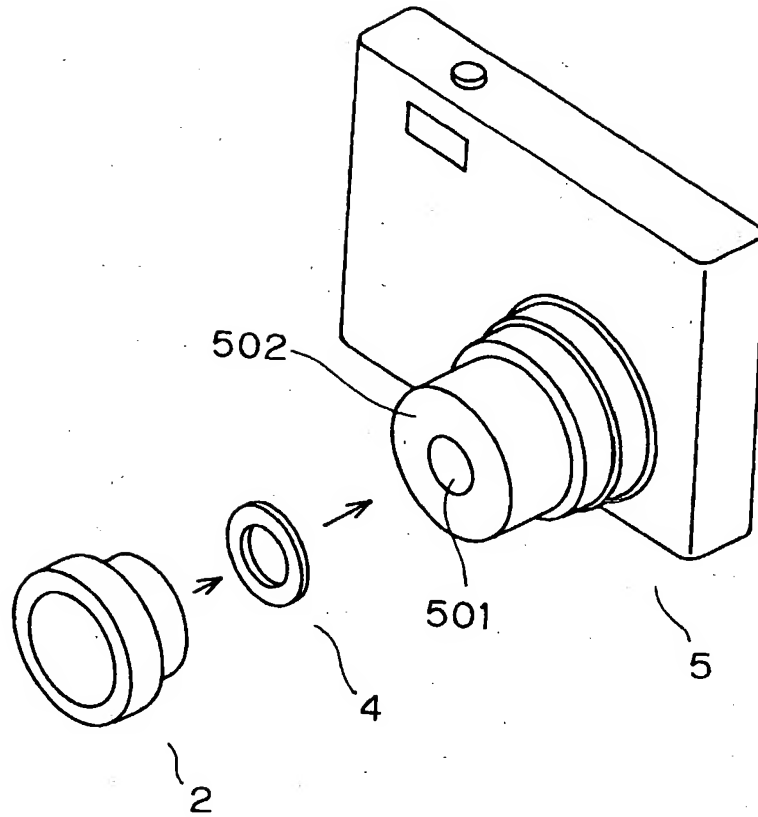
【図1】



【図2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 フィルターネジが形成されていないカメラに対しても、また、従来はアクセサリレンズの使用を想定していないカメラ内蔵の携帯電話等の製品に対しても容易に装着することが可能なアクセサリレンズを提供すること。

【解決手段】 カメラに装着される座金（４）と、該座金（４）に連結されることによりカメラに装着されるアクセサリレンズ本体（２）と、により構成され、前記アクセサリレンズ本体（２）は、カメラへの装着側に、マグネットあるいは磁性体により構成される吸着部（３）が形成されており、前記座金（４）は、前記アクセサリレンズ本体（２）における吸着部（３）に吸着可能な磁性体あるいはマグネットにより構成され、これにより、両面テープ等を用いてカメラ等に座金（４）を装着しておくことで、座金（４）を介し、磁力によってアクセサリレンズをカメラ等に装着することができる。

【選択図】 図1



実願 2003-003173

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[503199076]

1. 変更年月日

2003年 6月 2日

[変更理由]

新規登録

住 所

埼玉県戸田市上戸田1-9-3

氏 名

有限会社トダ精光